

## 第2学年1組 生活科学習指導案

【日 時】令和2年11月26日(木) 14:30~15:15 【場 所】2年1組教室 【指導者】森田 祐介

### 本授業の主張点

まちの「すごか人」を紹介する活動で受けたアドバイスや質問から、まち探検で見つけた地域の人々のよさについて再考する。更にそれを表現に生かすという往還を繰り返しながら、自分との関わりの中で「すごか人」を捉え、地域の人々の思いや願いに迫っていく児童の姿を目指します。

1 単元名 シャちっ子たんけんたい〜つたえたい! わが町のすごか人〜

### 2 単元の構想

#### (1) 単元の内容

本単元は、内容「(3)地域と生活」「(8)生活や出来事の伝え合い」を中心に構成している。児童の生活の場は自分の家やその周辺から通学路、学校へと少しずつ広がっていく。そして、日頃から友達と遊んだり、家族と買い物をしたり、地域の行事に参加したりして、様々な人々や場所と関わって生活するようになる。しかし、本校の特性上、学校の周りがそのまま自分の生活の場と重なる児童はそう多くはない。日頃の登下校や学習活動等以外に、地域(学校の周り)と自分との関わりを捉える機会が少ないのである。だからこそ、「まち探検」を通して、地域の人々や場所のよさに気付き、それらを大切にすることが大切にする気持ちや地域に積極的に関わろうとする気持ちを育てていくことに価値がある。また、繰り返し「まち探検」を行うことで地域の人々の思いや願いに迫ろうと探究する姿も期待できる。地域のよさを発見した喜びや気付きを誰かに伝えたいという気持ちを原動力とし、児童の主体性を引き出していきたい。本校の周りには、整備された公園や図書館、佐賀城本丸歴史館などの公共施設、地域の人々に愛されている商店など魅力的な施設が多く存在する。児童は、「まち探検」を行うことで様々な「ひと・もの・こと」に出会い、その存在に気付いていくであろう。単に場所の存在やそこにあるもの、その働きなどの気付きに終わることがないように、「ひと」の思いや願いに着目させていきたい。そのためにも、繰り返し働く人々に直接働きかけることで対象との距離を縮め、自分との関わりの中で対象を捉えさせていく。

#### (2) 児童の実態について

本学級の児童は、4月に「春みつけ」のため、本校の周りをクラス全員で探検している。その際、校歌の歌詞にあるものを見付けたり、地域にある公園で遊んだりしながら、春の心地よさを感じたり、動植物から春を感じたりすることができていた。何となくではあるが地域の外観も捉えつつある。ただ、児童は見付けた「もの」を多数挙げるができていたものの、「ひと」や「こと」に関する記述は少なかった。地域のよさやそこで生活したり働いたりしている人々の思いや願いに気付くためには、意図的に「ひと」との出合いを仕組み、生活する地域を見る視点をもたせることが必要となる。また、「2の1水族館をつくろう」「わくわくおもちゃランドをつくろう」という1年生を招待して楽しむ活動をつくり出す経験もあり、相手意識をもって意欲的に取り組むことのできる児童は多い。

#### (3) 指導について

指導にあたっては、まず、クラス全体で学校の周りを「秋さんぽ」することから始める。地域の人々の営みが見える商店や児童にとって親しみある公園、城内エリアならではの歴史情緒あふれる史跡など、気付いてほしい場所を中心に散策する。その際、その場所に目が向くように児童に問いかけたり、自分たちの生活を想起するような話題を振ったりしながら、自分との関わりを感じさせるような散策とした。次に、「秋さんぽ」の振り返りを基に児童が行きたい場所を決め、1回目のまち探検を行う。そして、1回目のまち探検で気付いたことの中から「ひと」に関することに教師が価値付けを行い、地域で頑張っている人、輝いている人を「すごか人」と銘打ち、2回目のまち探検の目的を「すごか人のすごかところ」を見つけるという活動の方向性をもたせる。3回目のまち探検では、そこで働く人々の思いや願いに触れることができるようにインタビュー活動を行ったり、お試し体験をさせてもらったりしながら、「優しさ」「仕事の楽しさや難しさ」等に触れ、実感を伴った気付きを得ることができるようになりたい。その気付きが地域の人々の思いや願いに気付き、地域への愛着を生み出すことにつながるであろう。

本時では、3回目のまち探検を通して見付けた「すごか人」をクラスで紹介する活動を仕組む。本単元のゴールを「他のクラスの人たちやお家の人に『わが町のすごか人』を紹介する」と設定するため、本時はプレ発表の形態をとる。自分たちが見付けた「すごか人」を紹介するために、劇化したり、紙芝居

やペーパーサートにしたりと様々な表現方法に挑戦させる。よりすごさが伝わることを目指して、内容や表現方法を試行錯誤する姿を期待したい。また、「すごかポイント（地域の人々を見る視点）」を基に聞いたり、質問したりする活動を仕組むことで、表現できていなかった地域の人々のよさや自分たちの頑張りにも気付かせる機会とする。授業の終末では、「すごか人全員に言えることは何ですか」と問うことで、思考の収束をうながし、地域の人々の思いや願いに迫らせていきたい。

### 3 単元の目標と評価規準

#### (1) 単元の目標

まち探検を通して、地域やそこで生活したり働いたりしている人々について考え、その思いや願いに気付き、地域の場所や人々に親しみや愛着をもちながら生活しようとする。

#### (2) 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①地域で生活したり働いたりしている人々の工夫や努力、思いや願いに気付いている。 ②地域と自分の生活との関わりについて気付いている。	①まち探検を通して、地域の人々のことを考え、それらと自分の生活との関わりを捉えている。 ②まちの「すごか人」について分かりやすく表現している。	①地域や人々と関わることに関心をもち、親しみをもって話したり、活動したりしようとしている。 ②地域の場所や人々のよさを大切にして生活しようとしている。

### 4 単元の計画（全16時間）

【一次】 みんなで秋さんぽにでかけよう（3時間） 【二次】 まちたんけんに出かけよう（4時間）

【三次】 すごか人たんけんに出かけよう（4時間） 【四次】 すごか人をしょうかいしよう（5時間）

### 5 本時の指導（14/16）

#### (1) 指導目標

まちの「すごか人」のよさを伝える活動を通して、これまでの活動や地域の人々のよさを自分たちなりに表現しながら、考えることができるようにする。

#### (2) 評価規準

イ まちの「すごか人」について振り返り、そのよさを表現している。【思考・判断・表現】

#### (3) 展開

学習活動と児童の反応（ <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">        </span> ）	教師の働きかけと形成的評価（◆）
1 前時を振り返り、本時の見通しをもつ。（5分）  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「すごか人」のよさがつたわるしょうかいになるようにくふうしよう</div>	1-(1) まち探検で見つけた「すごか人」クイズを行い、地域の人々のよさを想起させる。 1-(2) 不十分な紹介モデルを示すことで、より「すごか人」のよさが伝わる発表に仕上げることを確認する。
2 チームごとに試しの紹介をする。（15分） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・肉の藤丸さんは、80年もお店を続けています。それだけ続けているのは、お客さんとの会話を大切にしているところだと思います。 →お肉にこだわっているところも紹介したらいいと思います。 →お客さんと話をしているところを劇にしたらどうか？</div>	2 チームごとにペアを作って、「すごか人」を紹介させる。その際、「すごいところ」「頑張っているところ」「輝いているところ」を視点として聞き合うことで、内容や表現方法の再考をうながす。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">◆「すごか人」のよさが伝わるように内容や表現方法の工夫を考えているか。（発言・ワークシート）【思考・判断・表現】 B 「すごか人」の思いや願いを表現しようとしてる。 → 思いや願いがより伝わる表現方法を考えさせる。</div>
3 「すごか人」紹介をパワーアップさせる。（15分） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・お肉にこだわっているところをアピールするために、画用紙に書いて伝えたいな。 ・お客さんとどんな話をしているのかな。</div>	3-(1) 内容や表現方法を再考できるように他のチームのアドバイスや発見カードを活用するよううながす。 3-(2) パワーアップできたチームは他のチームと見せ合ったり、教師が価値付けしたりすることで学びを実感できるようにうながす。
4 本時の授業を振り返る。（10分） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・お客さんと丁寧にお話をしているところを劇にしました。藤丸さんのお客さん思いなところが上手にできたと思います。</div>	4-(1) 本日の学びを振り返り、自分と地域との関わりについて改めて考え。そのことで地域への愛着を膨らませていく。 4-(2) 「すごか人」全員に言えることは何かと問うことで、地域の人々の思いや願いに迫らせる。

